

第30期

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

営業報告書

御殿場総合サービス株式会社

目次

1. 企業精神・活動理念等	1
2. 第30期組織図	2
3. 第30期事業報告	
(1) 指定管理事業	3
(2) 各種請負事業	4
(3) まちづくり事業	5
(4) その他事業	6
(5) 各施設利用状況報告	8
4. 第30期決算報告	15
・貸借対照表	16
・損益計算書	17
・販売費及び一般管理費明細書	18
・株主資本等変動計算書	19
・個別注記表	20
・監査報告書	21

1. 企業精神・活動理念等

企業精神

「常に公の利益を追求し、社会に貢献します。」

活動理念

「トリプルウィン（Triple Win）」の実現
～御殿場市民、御殿場市、当社に Win Win Win の関係を～

* 御殿場市民の Win とは・・・

当社の提供するサービスを、いつでも・誰でも・気軽に・安全・安心に利用でき、ニーズが満たされること。

* 御殿場市の Win とは・・・

当社の活動が御殿場市のまちづくり、人づくりに貢献し、御殿場市民の Win を最低限のコストで実現すること。また、御殿場市が安心して当社に業務を任せられることができること。

* 当社の Win とは・・・

御殿場市民、御殿場市の Win のために、企業精神に基づいて活動することにより、御殿場市民に感謝・評価される喜びを得るとともに、さらに高いモチベーションでやりがいと誇りを持って働く環境を得ること。また、その結果として当社の収益が各事業の継続性を保つこと。

活動指針

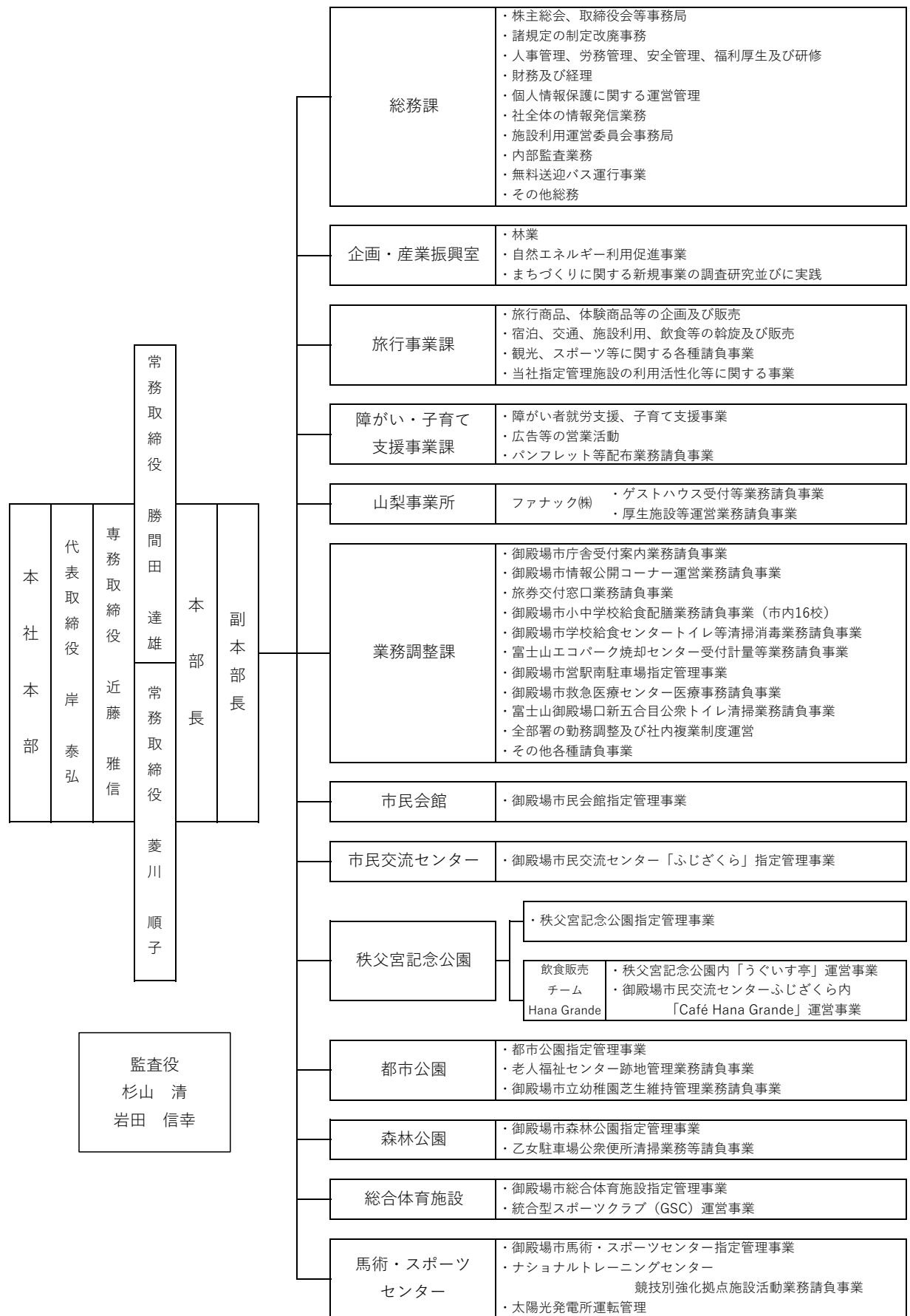
- 一、 常に安全・安心を追求し、災害を防ごう。
- 一、 常に利用者の立場に立ち、サービスの向上に努めよう。
- 一、 常にチャレンジ精神を持ち、時代を先取りしよう。

第30期 重点目標

「利益率の向上と、リスク管理を両立しよう」

- (1) 人材やノウハウを部署間で共有し、業務の効率化を図ろう。
- (2) 新規事業の実施及び獲得に向けて積極的に取り組もう。
- (3) 今一度足元の業務を見直し、金銭・情報等のあらゆるセキュリティリスクに備えよう。

2. 第30期組織図



※「営業・旅行事業課」を「旅行事業課」に名称変更し、業務内容を一部変更した。

3. 第30期 事業報告

(1) 指定管理事業（8施設）

施設名	指定管理期間	担当部署	従業員数	備 考
御殿場 市民会館	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日	市民会館	GSK 10人 〔文化協会 3人〕 〔たくみ 3人〕	* 御殿場市文化協会、株式会社エスピーエスたくみとのグループによる (代表団体：当社)
御殿場市民 交流センター 「ふじざくら」	令和5年4月1日～ 令和10年3月31日	市民交流センター	〔社会福祉協議会 4人〕 GSK 3人	* (福)御殿場市社会福祉協議会、(公社) 御殿場市シルバー人材センターとのグループによる(代表団体：御殿場市社会福祉協議会) * 喫茶・軽食コーナー運営業務 (担当部署：飲食販売チーム HanaGrande)
御殿場 市営駅南駐車場	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日	業務調整課	2人	
秩父宮記念公園	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日	秩父宮記念公園	17人	* 御殿場市文化協会とのグループによる(代表団体：当社) * 飲食販売チーム HanaGrande 担当4名を含む
御殿場市都市公園 (秩父宮記念公園等を除く)	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	都市公園	9人	御殿場市中央公園、桜公園、湯沢平公園、富士岡公園、駒門公園等(御殿場市内計87公園)
御殿場市森林公園	令和6年4月1日～ 令和9年3月31日	森林公園	7人	* 乙女森林公園第1・第2キャンプ場、市民の森フォレスト乙女
御殿場市総合 体育施設	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日	総合体育施設	GSK 10人 〔スポーツ協会 3人〕	* (特非)御殿場市スポーツ協会とのグループによる (代表団体：当社)
御殿場市馬術・ スポーツセンター	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日	馬術・スポーツ センター	7人	* (特非)御殿場市スポーツ協会とのグループによる (代表団体：当社)
指定管理事業 従業員数 合計			65人	

(2) 各種請負事業

事業名		従業員数	担当部署
1	御殿場市庁舎受付案内業務請負事業	4人	業務調整課
2	御殿場市情報公開コーナー運営業務請負事業		
3	旅券交付窓口業務請負事業		
4	御殿場市小学校給食配膳業務請負事業（市内10校）	40人	
5	御殿場市中学校給食配膳業務請負事業（市内6校）		
6	御殿場市学校給食センタートイレ等清掃消毒業務請負事業	2人	
7	御殿場市・小山町広域行政組合 富士山エコパーク 焼却センター受付計量等業務請負事業	2人	
8	御殿場市救急医療センター医療事務請負事業	4人	
9	富士山御殿場口新五合目公衆トイレ清掃業務請負事業	—	
10	御殿場市合同企業ガイダンス 2025 春会場設営等業務請負事業	—	
11	乙女駐車場公衆便所清掃業務等請負事業	—	森林公園
12	老人福祉センター跡地管理業務請負事業	—	都市公園
13	御殿場市立幼稚園芝生維持管理業務請負事業		
14	ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活動業務請負事業	—	馬術・ スポーツセンター
15	ファナック（株）ゲストハウス受付等業務請負事業	11人	山梨 事業所
16	ファナック（株）厚生施設等運営業務請負事業		
各種請負事業 従業員数 合計		63人	

(3) まちづくり事業

事業名		従業員数	担当部署
1	障がい者就労支援・子育て支援事業 (子育て支援・障がい者就労支援プロジェクト合同会社との共同事業)	3人	障がい・子育て 支援事業課
	・障がい者就労支援及び子育て支援を目的とした広告配布事業への協力 ・広告等の営業活動 ・パンフレット等配布業務請負事業		
2	旅行事業	2人	旅行事業課
	・旅行商品、体験商品等の企画及び販売 ・宿泊、交通、施設利用、飲食等の斡旋及び販売 ・観光、スポーツ等に関する各種請負事業 ・当社指定管理施設の利用活性化等に関する事業		
3	自然エネルギー利用促進事業	3人	企画・産業 振興室
	・太陽光発電事業(御殿場市神山太陽光発電所、御殿場市馬術・スポーツセンター、本社社屋及び倉庫) ・木質バイオマスのエネルギー利用に関する調査研究・実践		
4	林業 (特定非営利活動法人地域活力創造センターとの共同事業)		
	・森林整備事業(造林、保育、間伐、主伐等) ・用地開発事業等に伴う伐採等事業 ・林業に関する体験商品等の企画及び運営 ・その他地域の森林整備及び木材利用に関する調査研究並びに実践		
5	まちづくりに関する調査研究並びに実践に関する事業		
	・地域の観光交流人口及び定住人口の拡大及び維持を目的とした各種事業の調査研究 ・地域の人材開発及び雇用促進を目的とした各種事業の調査研究		
6	農業及び6次産業事業	—	秩父宮 記念公園
	・農作物の生産、加工、販売 ・地域の農業及び6次産業を振興することを目的とした各種事業の調査研究並びに実践		
7	飲食等販売事業	—	各部署
	・各種イベント等での飲食等出店事業		
まちづくり事業 従業員数 合計		8人	

(4) その他事業

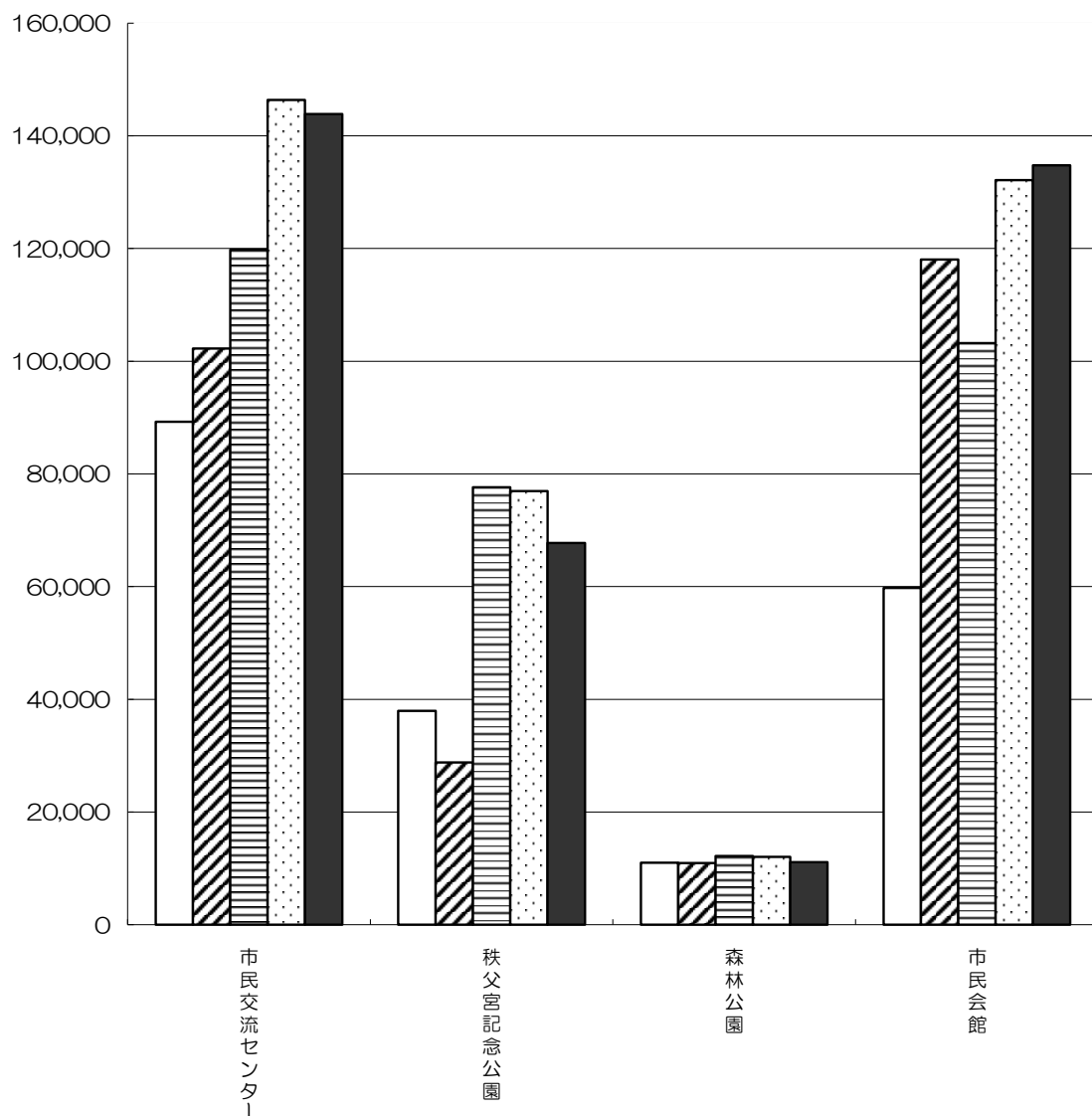
事業名		従業員数	担当部署
1	株主総会、取締役会等事務局	6人	総務課
	諸規定の制定改廃事務		
	人事管理、労務管理、安全管理、福利厚生及び研修		
	財務及び経理		
	個人情報保護に関する運営管理		
	社全体の情報発信業務		
	施設利用運営員会事務局		
	内部監査業務		
	無料送迎バス運行		
	その他総務		
2	各種請負事業の運営管理	10人	業務調整課
	全部署の勤務調整及び社内複業制度運営		
その他事業従業員数合計		16人	

令和7年3月31日現在 従業員数 155名

(5) 各施設利用状況報告

単位：人

利用人数報告



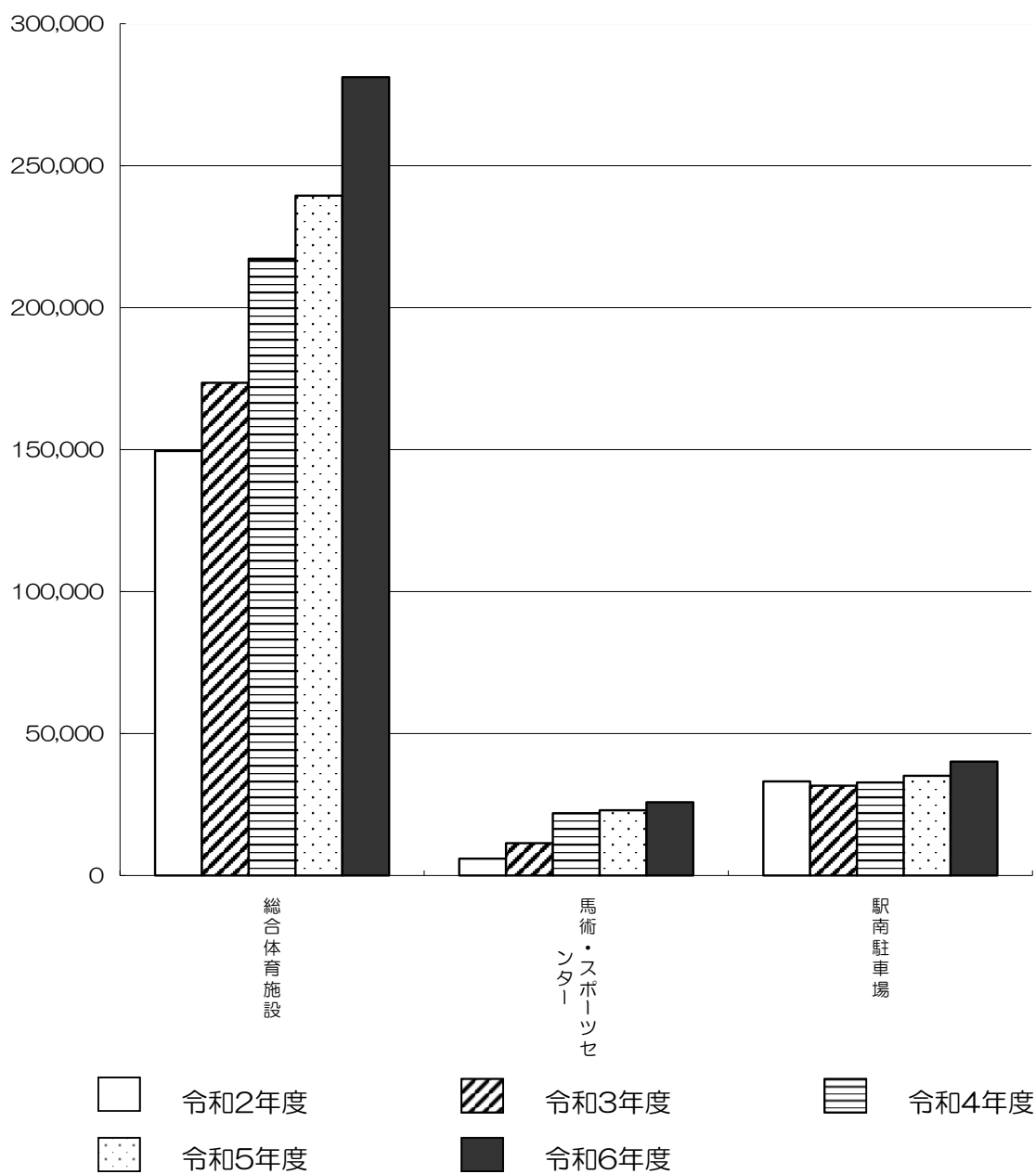
令和2年度
 令和3年度
 令和4年度
 令和5年度
 令和6年度

単位：人

	市民交流センター	秩父宮記念公園	森林公園	市民会館
令和2年度	89,255	37,930	10,974	59,768
令和3年度	102,258	28,792	10,943	118,051
令和4年度	119,791	77,634	12,191	103,213
令和5年度	146,369	76,956	12,038	132,144
令和6年度	143,886	67,746	11,113	134,780

単位：人・台

利用人数・台数報告

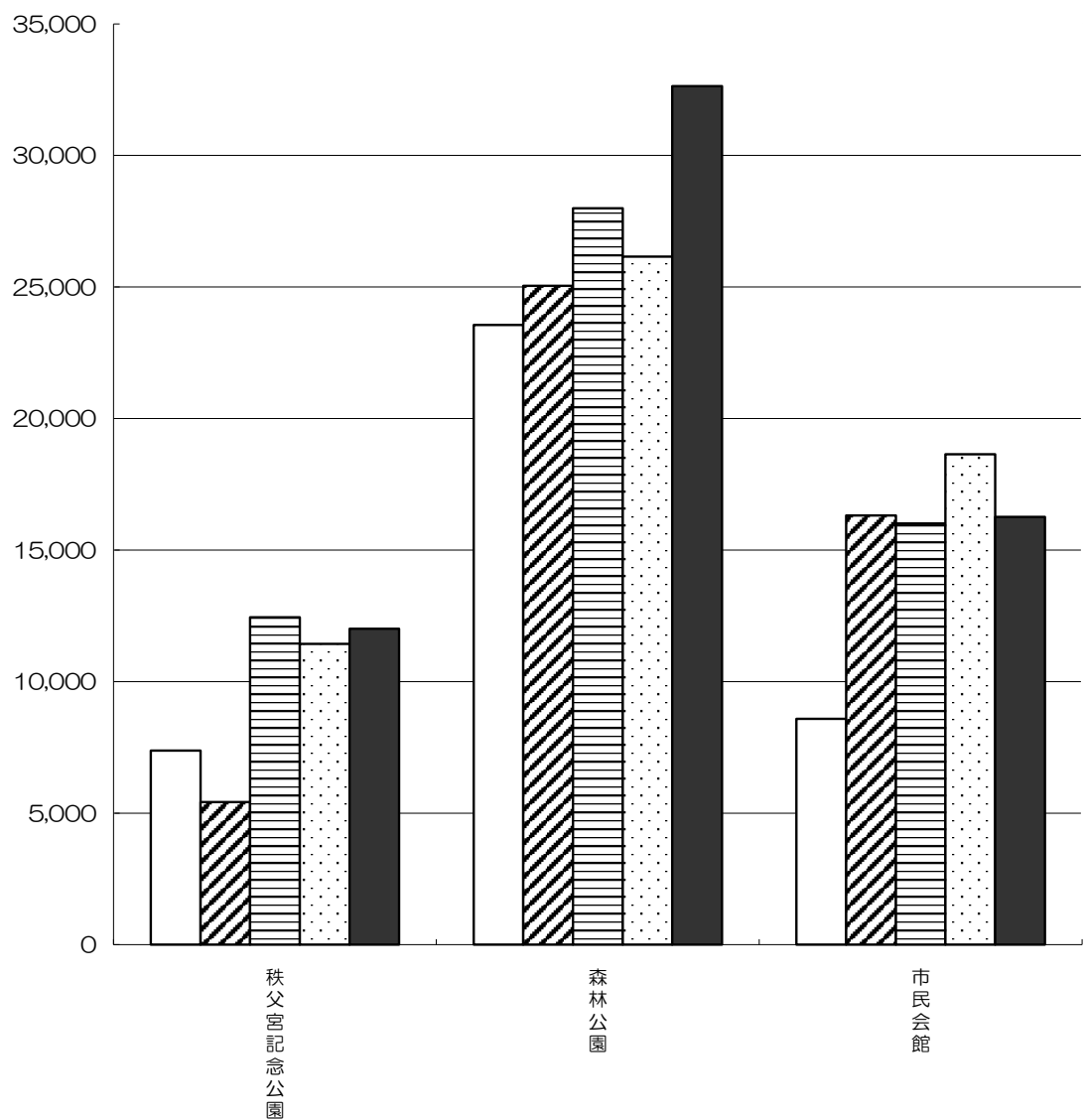


単位：人（駅南駐車場は台数）

	総合体育施設	馬術・スポーツセンター	駅南駐車場
令和2年度	149,556	5,896	33,158
令和3年度	173,577	11,423	31,637
令和4年度	217,229	21,899	32,790
令和5年度	239,464	23,027	35,092
令和6年度	281,174	25,849	40,088

単位：千円

利用料収入報告



令和2年度
 令和3年度
 令和4年度

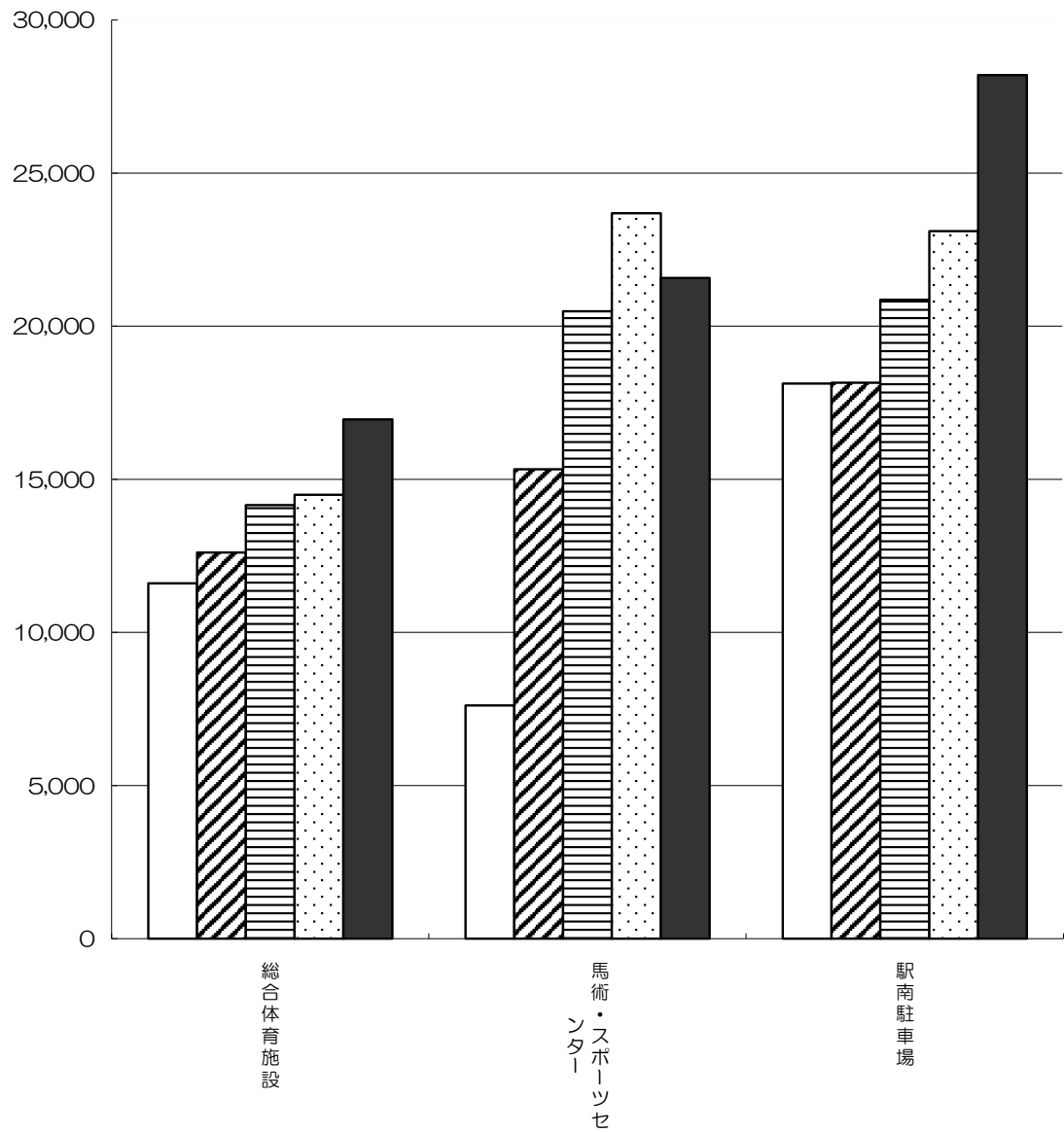
令和5年度
 令和6年度

単位：千円

	秩父宮記念公園	森林公園	市民会館
令和2年度	7,380	23,562	8,585
令和3年度	5,424	25,048	16,317
令和4年度	12,448	27,998	16,014
令和5年度	11,429	26,151	18,644
令和6年度	12,006	32,641	16,266

利用料収入報告

単位：千円



□ 令和2年度 ▨ 令和3年度 ▤ 令和4年度
▧ 令和5年度 ■ 令和6年度

単位：千円

	総合体育施設	馬術・スポーツセンター	駅南駐車場
令和2年度	11,608	7,619	18,129
令和3年度	12,613	15,332	18,155
令和4年度	14,161	20,492	20,863
令和5年度	14,492	23,687	23,102
令和6年度	16,954	21,578	28,199

令和6年度 各施設利用状況に関する考察

施設名	利用人数（人・台）			利用料収入（千円）		
	令和5年度	令和6年度	対前年比（％）	令和5年度	令和6年度	対前年比（％）
御殿場市民交流センター「ふじざくら」	146,369	143,886	98.3%	—	—	—
秩父宮記念公園	76,956	67,746	88.0%	11,429	12,006	105.0%
御殿場市森林公園	12,038	11,113	92.3%	26,151	32,641	124.8%
御殿場市民会館	132,144	134,780	102.0%	18,644	16,266	87.2%
御殿場市総合体育施設	239,464	281,174	117.4%	14,492	16,954	117.0%
御殿場市馬術・スポーツセンター	23,027	25,849	112.3%	23,687	21,578	91.1%
御殿場市営駅南駐車場	35,092	40,088	114.2%	23,102	28,199	122.1%
合 計	665,090	704,636	105.9%	117,505	127,644	108.6%

アフターコロナ 2 年目となった令和 6 年度は、全体としては、コロナ禍からの施設利用の回復基調が続き、対前年比で利用人数は約 5.9%、利用料収入は約 8.6%増加しました。

施設名：御殿場市民交流センター「ふじざくら」
前年度並みの利用人数となりました。
施設名：秩父宮記念公園
令和 6 年の桜まつりが 3 月 30・31 日、令和 7 年の桜まつりが 4 月 5・6 日であったことから、令和 6 年度は桜まつりの開催がない年度となった影響で利用人数は約 12% 減少しました。 一方、インバウンド客等による個人入園者の増加により利用料収入は約 5%増加しました。
施設名：御殿場市森林公園
令和 6 年 7 月から入場料を導入したこと、市民料金の設定により市民によるバーベキュー炉の利用が大幅に増加したことで利用料収入は約 25%増加しました。一方で、1 件当たりの利用人数が減少した影響により、全体の利用人数は約 8%減少しました。

施設名：御殿場市民会館
<p>「ごてんばの日」「市制施行 70 周年記念」「産業フェア」等、全館を使用する大規模イベントが複数開催され、利用人数は約 2%増加しました。</p> <p>一方で、営利加算対象の利用件数が減少したこと等により、利用料収入は約 13%減少しました。</p>
施設名：御殿場市総合体育施設
<p>大相撲御殿場場所の開催、各種スポーツ大会やイベントの開催件数・参加者増加、スポーツ教室参加者の増加もあり利用人数、利用料収入共に約 17%増加しました。</p>
施設名：御殿場市馬術・スポーツセンター
<p>3回目の実施となる自主事業「馬フェスタ」の来場者増加、全日本ジュニア障害馬術大会の開催により利用人数は約 12%増加しました。</p> <p>一方で、例年開催していた東京馬術大会、ジャパンホースフェスティバルが他会場で実施されたことにより、利用料収入は約 9%減少しました。</p>
施設名：御殿場市営駅南駐車場
<p>駅前の人流が増えたことに伴う精算機・回数券の利用増加、定期駐車の利用増加により、利用台数は約 14%、利用料収入は約 22%増加しました。</p>

4. 第30期 決算報告

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

御殿場総合サービス株式会社

貸借対照表

令和 7年 3月 31日 現在

(単位：円)

御殿場総合サービス株式会社

資産の部		負債の部	
【流動資産】	86,833,021	【流動負債】	123,961,654
現金	2,472,493	買入掛金	2,540,212
普通預金	32,463,226	短期借入金	44,221,000
定期預金	7,000,000	未払金	53,946,379
貸倒引当金	350,000	前払金	5,829,990
短期貸付金	63,000	預受金	779,380
商品	3,380,561	未払法人税等	2,707,193
金	5,540,000	未払消費税等	202,500
費用	35,609,221	【固定負債】	13,735,000
	80,520	【長期借入金】	222,469,150
【固定資産】	365,689,743	長期借入金	3,565,150
【有形固定資産】	336,673,974	退職慰労金	216,054,000
建物	23,470,944	負債合計	2,850,000
機械	15,343,374		346,430,804
運搬器具	277,418,609	純資産の部	
備置具	4,698,208	【株主資本】	106,091,960
土地	1,977,292	【資本金】	50,000,000
建物	3,000,000	【利益剰余金】	56,091,960
その他資産	10,765,547	利益準備金	5,240,000
【投資その他の資産】	29,015,769	【その他利益剰余金】	50,851,960
貸倒引当金	145,000	繰越利益剰余金	50,851,960
貸出金	110,000	純資産合計	106,091,960
長期前払証金	24,228,000		
長期前積立金	2,230,000		
	1,506,110		
	1,086,659		
資産合計	452,522,764	負債・純資産合計	452,522,764

(単位：円)

17

販売費及び一般管理費明細書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

(単位：円)

御殿場総合サービス株式会社

勘定科目	金額
役給退退退法福シ研旅通広交燃水消租支諸リ委支地保修減納寄消貸	18,000,000
員与	406,583,611
職職	26,054,546
給	510,000
金職福厚一修交信宣接料光	100,000
手掛繰	59,612,736
利生材	3,279,354
人通	8,476,946
伝待熱	472,778
品公数	1,047,539
ス報家	7,359,739
却	9,886,941
金繰	639,254
計	3,847,751
	71,467,089
	22,251,330
	3,286,100
	13,117,880
	1,334,166
	5,663,570
	169,492,849
	6,295,100
	9,361,640
	5,790,162
	21,272,526
	31,229,021
	10,504,506
	11,176,697
	56,489,200
	63,000
	984,666,031

株主資本等変動計算書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

(単位：円)

御殿場総合サービス株式会社

勘 定 科 目			金 額
【株主資本】			
【資本金】	金	当期首残高及び当期末残高	50,000,000
【利益剰余金】	金	当期首残高	5,200,000
利益準備金	金	当期変動額 利益準備金積立	40,000
		当期末残高	5,240,000
【その他利益剰余金】	金	当期首残高	50,745,028
繰越利益剰余金	金	当期変動額 利益準備金積立	△ 40,000
		第29期 配当金	△ 400,000
		当期純利益	546,932
利益剰余金合計		当期末残高	50,851,960
株主資本合計		当期首残高	55,945,028
		当期変動額	146,932
		当期末残高	56,091,960
純資産合計		当期首残高	105,945,028
		当期変動額	146,932
		当期末残高	106,091,960

個 別 注 記 表

御殿場総合サービス株式会社

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

1.重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品……………最終仕入原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産除く）……………建物は定額法、建物以外は定率法

無形固定資産（リース資産除く）……………定額法

リース資産……………リース期間を耐用年数とし残存価格をゼロとする定額法

引当金の計上基準

債権の貸倒損失に備えるために、法人税法の規定による繰入率により計上している。

収益及び費用の計上基準

収益及び費用については、一会計期間に属する全ての収益とこれに対応する全ての費用を計上している。

原則として収益については実現主義により、費用については発生主義により認識している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税込方式で計上している。

2.株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数

1000 株

当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項（当事業年度の末日後に行う剰余金の配当のうち、剰余金の配当を受ける者を定めるための会社法に規定する基準日が当事業年度中のものを含む）

令和 7 年 6 月 10 日開催予定の第 30 期事業年度の定時株主総会で決議予定

配当金の総額 400,000 円

配当資源 利益剰余金

1 株当たりの配当金 400 円

配当基準日 令和 7 年 3 月 31 日

効力発生日 令和 7 年 6 月 10 日

3.1 株当たり情報に関する注記

1 株当たりの純資産額

106,091 円 96 銭

1 株当たりの当期純利益金額又は当期純損失金額

546 円 93 銭

監 査 報 告 書

令和7年6月4日（水）午前10時30分から御殿場総合サービス株式会社本社において、取締役から提出のあった第30期（令和6年度）決算監査を行った結果、適正かつ正確であると認め、ここに報告いたします。

令和7年6月10日

御殿場総合サービス株式会社

監査役

杉 山



監査役

岩田 信幸



第30期営業報告書



令和7年6月発行

編集発行：御殿場総合サービス株式会社

〒412-0045 御殿場市川島田 1446 番地の 24

TEL:0550 (88) 5770 FAX:0550 (88) 5773